

ひきこもり支援に補助

白井議員に横浜市が検討表明

横浜市議会の2012年度予算特別委員会で2月28日、市は、引きこもりの青年などを

地域で支援する市民グループへの家賃補助などの活動支援を検討することを明らかにしま

した。日本共産党の白井正子議員の質問に答えたものです。

白井議員は、独自に部屋を借りて不登校児童・生徒の学習支援や、パソコン技能の指導での就労支援などを10年間行ってきた戸塚区のグループが、今後の運営資金のめどが立たずに解散してしまつた事例を紹介しました。

白井議員は「困難を抱えている若者の背景はさまざまで、一人ひとりに違った支援が必要です」と述べ、グループへの支援制度の創設を求めました。

市子ども青少年局の鯉淵信也局長は「地域での活動に対する助成ということも考えているので、(支援策を)そうしたなかで検討してまいります」と答えました。